



# 「安定した財政運営を」



八百津町 町民課 課長

山内 好仁

町民課長として、2年目を迎えました。町民課は、国民健康保険係、戸籍・住民票・旅券発行・マイナンバーカードを扱う窓口係、後期高齢者医療・福祉医療・国民年金事務を扱う医療年金係、すべての税及び料を徴収する徴収係、基幹税目である住民税係と固定資産税係の6つの係で、17名の職員で各種事務に対応しております。すべての係が町民の方の生活に密接したサービスを提供していることから、最も多くの町民が訪れる役場の窓口となり、町民の視点に立った公平正確で親切な行政サービスを心掛けております。声掛けし笑顔で接する。それぞれの係が入れ替わるワンストップサービス、係を超えた協力体制、特に確定申告では課一丸となって対応しております。しかし昨今、職員数の減少や業務の複雑化・多様化を前に職員の負担が増大し、モチベーションが低下してしまうことを危惧しております。

この原稿依頼があった直後、国民健康保険係にとって一大事が発生しました。他課の職員が急遽退職し、そのしわ寄せで県の作業部会に発足から継続して参加しているベテランの係長が異動となり、課長補佐が徴収係長と国民健康保険係長の2つの係長を兼務する1名減員の緊急事態となりました。これから予算編成など繁忙期を迎える中、半年間、全員体制で乗り切らなければいけないと考えております。

さて、私の健康づくりは、趣味の登山です。ホームグラウンドは八ヶ岳。隊長（妻）と日帰り登山が主流です。一番気に入っている景色は、赤岩の頭からの赤岳を中心にした景色です。登山は大変ですが、登り切った時の爽快感は格別です。頂上での湧き水でつくる一杯のコーヒーも格別です。体力を使い果たした帰りの夕飯は、決まって駒ヶ根の明治亭のソースカツ丼、最高です。これからも体が動く限り登山を続けたいと思っております。

— 当町が抱えている課題としては、まだ資産割を含む4方式で賦課しており、多くの市町村は3方式です。時代の流れとともに土地があるから経済的に安定しているといったことも当てはまらなくなり、資産割の廃止を検討しております。また、一人世帯が多くなってきたことから、平等割も時代にそぐわず2方式が主流になってくるのでは・・・。

昨年からは県が財政運営の主体となり、令和元年度予算では県から示された納付金が、保険料よりはるかに多くなったため基金繰入で対応しました。来年度予算編成にあたり、納付金の算定について部会等で検討されておりますが、毎年、急激な乱高下のない納付金にならない限り、課題となっている方式変更等は難しいと考えており、県主導による安定した財政運営をよろしく願います。